

＜大綱に記載された具体的施策の進捗状況＞

具体的施策の業績指標の項目	第3回点検時の進捗状況	第4回点検時の進捗状況
【1. 人工排熱の削減】		
・機器の省エネルギー目標 18品目の特定機器に関する省エネルギー目標を設定	目標基準の見直し:3品目 (特定対象21品目)	目標基準の見直し:4品目 対象範囲の範囲拡大:4品目 (特定対象21品目)
・住宅、建築物の省エネルギー化率 新築住宅 5%(11年度)→50%(20年度) 新築建築物 34%(11年度)→80%(18年度)	新築住宅:30%(17年度) 新築建築物:74%(16年度)	新築住宅:36%(18年度) 新築建築物:85%(17年度)
・実用段階にある低公害車の普及 1,000万台以上の普及(22年度までのできるだけ早い時期)	約1440万台(全保有台数の約29%) (18年度)	約1,647万台(全保有台数の約34%)(19年度)
・3大都市圏環状道路整備率 35%(14年度)→60%(19年度)	整備率:50%(18年度)	整備率:53%(19年度)
・道路渋滞による損失時間 38.1億人時間(14年度) →約1割削減(19年度)	損失時間33.1億人時間/年 (約13%削減)(18年度)	損失時間31.6億人時間/年 (約17%削減)(19年度)
・信号制御の高度化により短縮される通過時間 対策実施箇所において 3.2億人時間/年(約1割)短縮(19年度)	約2.3億人時間/年(18年度) (進捗率約72%)	約3.0億人時間/年(19年度) (進捗率約94%)
【2. 地表面被覆の改善】		
・都市域における水と緑の公的空間確保 量 12㎡/人(14年度)→13㎡/人(19年度) (12㎡/人を約1割増)	12.8㎡/人(約7%増加)(17年度)	12.9㎡/人(約8%増加)(18年度)
【4. ライフスタイルの改善】		
・冷房温度28℃への引き上げ、 暖房20℃への引き下げ 約44～85万t-CO2削減(22年度)	126万t-CO2削減(18年度) (クールビズ成果)	140万t-CO2削減(19年度) (クールビズ成果)
・省エネ法適用外機器についての高効率 機器の買い替え及び利用 約354～412万t-CO2削減(22年度)	472万t-CO2削減(17年度)	526万t-CO2削減(18年度)

注)年度は平成